



NAGOYA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL
OF MEDICINE

呼吸器内科

Respiratory medicine

呼吸器内科医は幅広い様々な病態に向き合う

呼吸器内科教授 石井誠

診療・研究両面で
領域横断的な
アプローチが可能！！

急性期から終末期の緩和医療まで

急性期管理

- ICU/人工呼吸管理

慢性期管理

- 在宅酸素/在宅人工呼吸管理

終末期の緩和医療

- オピオイド/Sedationによる苦痛緩和

免疫・アレルギー 炎症性疾患

- 気管支喘息
- COPD
- 間質性肺炎
- 膠原病関連間質性肺炎
- 薬剤性肺炎

びまん性肺疾患/ILDグループ
(病院講師 阪本考司)

アレルギー/喘息グループ
(講師 若原恵子)

肺癌グループ
(講師 森瀬昌宏)
(病院講師 長谷哲成)
(助教 田中一大)

呼吸器内視鏡グループ
(病院助教 伊藤貴康)

感染症グループ
(講師 進藤有一郎)

腫瘍性疾患

- 肺癌
- 悪性胸膜中皮腫
- 胸腺腫瘍

感染症

- 市中肺炎・院内肺炎
- 日和見感染症
- COVID-19
- 肺結核
- 非結核性抗酸菌症
- 肺真菌症

多種多様な治療薬

- 抗菌薬
- 抗ウイルス薬
- ステロイド
- 免疫抑制剤
- 抗癌剤
- 免疫チェックポイント阻害剤
- 生物学的製剤

呼吸器内科スタッフ・同門会 (2023/10)

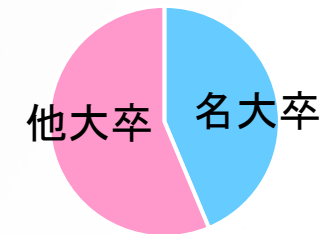
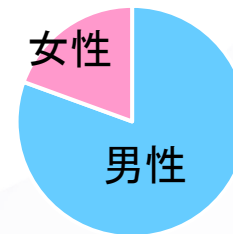
- ✓ 教員 12名
- ✓ 医員 6名
- ✓ 大学院生 24名

教授 1
講師 3
病院講師 2
助教 1
病院助教 6



- ✓ 同門会会員数 573名*

教授 石井誠
講師 若原恵子
講師 森瀬昌宏(医局長)
講師 進藤有一郎(外来医長)
病院講師 阪本考司(病棟医長)
病院講師 長谷哲成
助教 田中一大
病院助教 松井利憲(メディカルXRセンター)
病院助教 伊藤貴康
病院助教 神山潤二
病院助教 寺町涼(救急部)
病院助教 速井俊作



- ✓ 同門会会員 現役教授数 22名

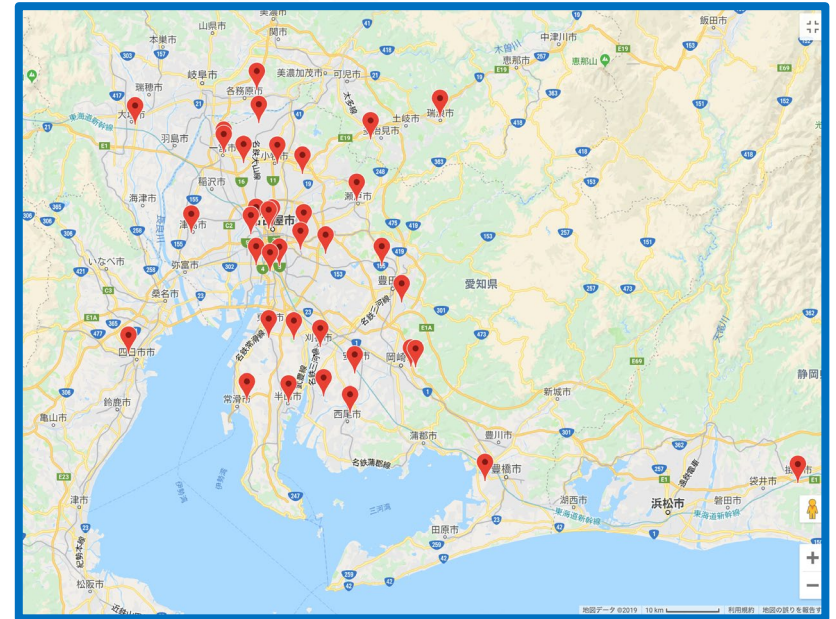
- ・呼吸器内科
- ・腫瘍内科、化学療法学分野
- ・感染症分野
- ・医療安全分野
- ・医療統計分野
- ・薬学部、医学部保健学科 など

呼吸器内科関連病院・関連施設 44施設

✓ 愛知県

名古屋市 12 市外 25

✓ 岐阜県 5 三重県 1 静岡県 1



- ❖ 呼吸器内科領域専門研修制度 基幹/連携施設31施設
- ❖ アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設16施設
- ❖ 日本呼吸器内視鏡学会認定施設17施設
- ❖ 日本臨床腫瘍学会基幹/連携施設20施設

呼吸器内科で研修可能なサブスペシャリティー

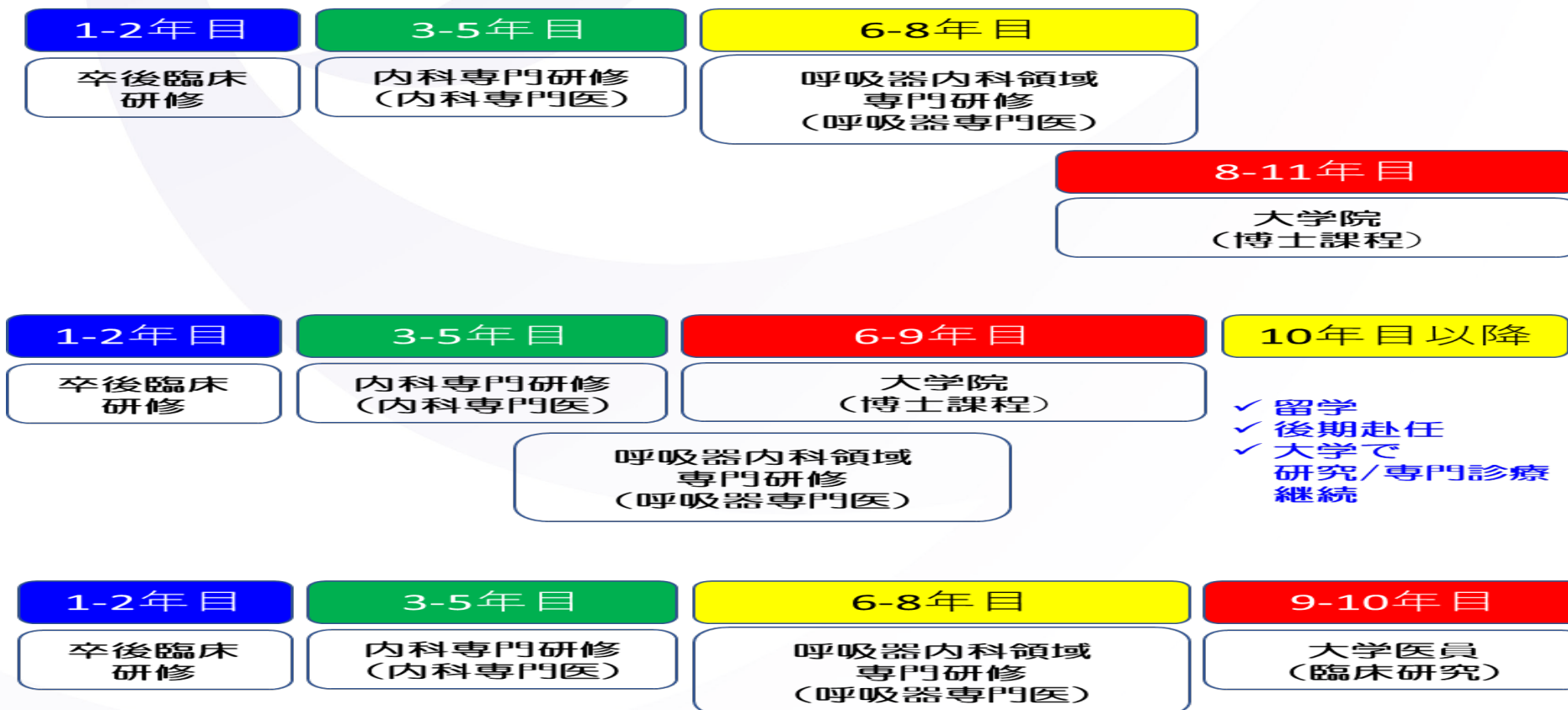
1. 呼吸器専門医(日本呼吸器学会)
2. アレルギー専門医(日本アレルギー学会)
3. 感染症専門医(日本感染症学会)
4. がん薬物療法専門医(日本臨床腫瘍学会)

呼吸器内科医のキャリアパス

先生方の様々なキャリアUPを応援します

- ✓ キャリアパスの多様性に応えるため、
早期に大学院博士課程入学ができる環境が整っています！
- ✓ 同世代の仲間と大学で研究・臨床経験を！

呼吸器内科医としてのキャリアパスの例



キャリアパスについては、ご本人のご希望やライフイベントに合わせたご相談が可能です

若手医師専門医教育

先生方が将来**呼吸器専門医**として活躍できることを目標に、関連病院の先生方と一緒に
全力でサポートします！！

✓呼吸器科医養成塾

大学院生(医師7-8年目)が、相談でテーマ、講師
を決め、関連病院の先生がLecture + Free talk

第33回開催のご案内

謹啓
時下、先生方には益々ご清祥の事と存じます。この度、第33回呼吸器科医養成塾を
開催する運びとなりました。
本会は、専門知識からプライマリケアに関する事まで、若手医師育成の場として、現場で
役立つディスカッションを行い、コミュニケーションをとる事を目的としています。
名古屋大学 呼吸器内科とその関連施設の若手医師を主な対象としていますが、
どなたでも参加可能です。
ご多忙とは存じますが、御出席賜りますようお願い申し上げます。 謹白

日時：令和4年7月21日（木） 19:00～20:00
方式：ハイブッド開催
会場：名古屋大学 基礎研究棟 会議室1（学務課前）
Web URL：
<https://boehringer.zoom.us/j/96007248329?pwd=Ymw2TXJ5R0R2U0VGVQ3p2U1ZwUzFWQT09>

ミーティングID: 960 0724 8329
パスワード: 278629

※ 個人情報につきましては、本講演会の目的のみにご使用させていただきます。

司会 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科
後藤 洋輔 先生 / 日下 真宏 先生

特別講演 19:00～20:00

『よくわかる！肺移植』

演者 名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学 教授
芳川 豊史 先生

事務局：名古屋大学医学部 呼吸器内科 TEL：052-744-2167 FAX：052-744-2176
問合せ先：日本ベーリンガーインゲルハイム（株）岡田太輔 TEL：080-2183-9365
※ 会場にてご参加の方は、会費 500円を徴収致します。

個人情報につきましては本講演会の目的のみにご使用させていただきます
講演会の情報をソーシャルメディア等に投稿することをご遠慮ください

共催 呼吸器科医養成塾・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

呼吸器科医養成塾

令和5年7月5日（水）
講師 寺町涼先生
石井誠先生

講義についての意気込み

ILDの最新の世界へ
ご案内します！

寺町涼先生（H22年卒）



名古屋大学医学部 呼吸器内科 主催/
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 協賛

日時：令和5年7月5日（水） 19:00 開講
場所：TKPガーデンシティPREMIUM
名古屋新幹線口 バンケットホール3A

Respiratoryを愛する者よ、集え！

～SARS-CoV-2の猛威と奮闘した我々の新たなステージ～

特別講演

名古屋大学医学部呼吸器内科 新教授
石井 誠 教授

- ・ 呼吸器医として将来のことで悩んでいる
- ・ 関連病院様の人事関連の御相談 etc..

当日来場頂ければ何でもお話伺います



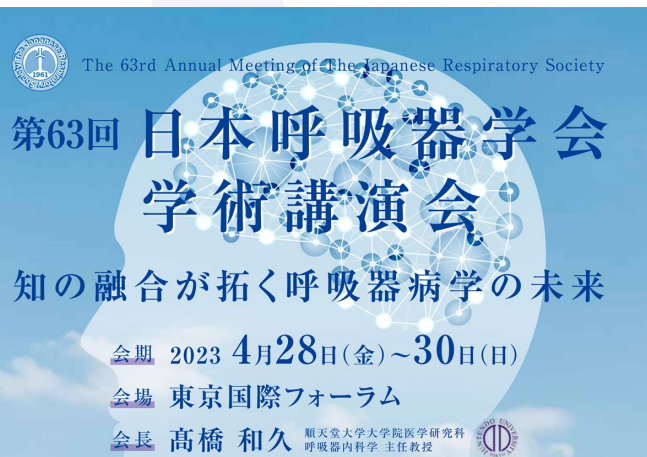
令和4年7月21日（木）
講師 芳川豊史先生

若手医師専門医教育

先生方が近い将来**呼吸器専門医**として活躍できるよう、関連病院の先生方と一緒に
全力でサポートします！！

✓若手医師の学会発表、論文発表のサポート・指導

(専門医取得に必要な学会発表、論文発表)



The 63rd Annual Meeting of the Japanese Respiratory Society
第63回 日本呼吸器学会
学術講演会
知の融合が拓く呼吸器病学の未来
会期 2023 4月28日(金)~30日(日)
会場 東京国際フォーラム
会長 高橋 和久 順天堂大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 主任教授

4月30日(日)
第11会場
09時50分~10時53分

呼吸器病学ことはじめ 一般演題(口演) 3 びまん性肺疾患2
座長: 渡辺 徹也(大阪公立大学呼吸器内科学)、引地 麻梨(日本大学附属板橋病院呼吸器内科)

R20. COVID-19感染を契機に発症したIPF急性増悪の2例

Acute exacerbation of IPF triggered by COVID-19 ; 2 cases report

福田 夏帆¹、表 紀仁¹、阪本 考司¹、森瀬 昌宏¹、岡地 祥太郎¹、松井 利憲¹、鈴木 淳¹、日下 真宏¹、池山 賢樹¹、若原 恵子¹、石井 誠¹
名古屋大学附属病院呼吸器内科¹



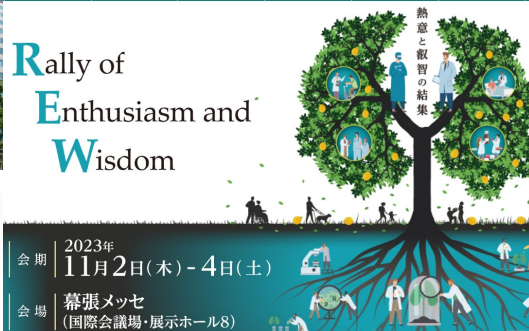
第141回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東海支部学会
第123回日本呼吸器学会東海地方会
第26回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会
第64回日本肺癌学会学術集会
The 64th Annual Meeting of the Japan Lung Cancer Society

15:45~16:30 肺癌(3)

座長 大垣市民病院 呼吸器内科 加賀城美智子

C-12 肺原発Hepatoid Adenocarcinomaに化学放射線・Durvalumabが奏功した一例

名古屋大学大学院 医学系研究科 病態内科学講座 呼吸器内科学 橋本 賢彦



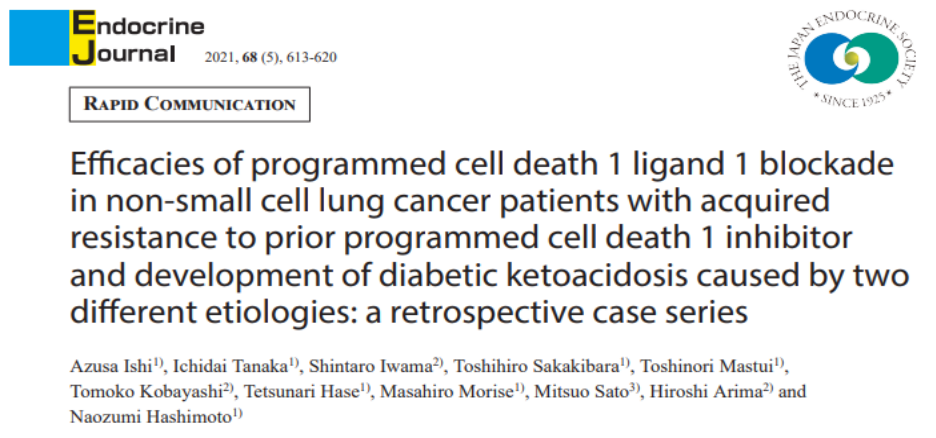
Rally of
Enthusiasm and
Wisdom
2023年
会期 11月2日(木)-4日(土)
会場 幕張メッセ
(国際会議場・展示ホール8)

若手医師専門医教育

先生方が近い将来**呼吸器専門医**として活躍できるよう、関連病院の先生方と一緒に
全力でサポートします！！

✓若手医師の学会発表、論文発表のサポート・指導

(専門医取得に必要な学会発表、論文発表)



Endocrine Journal 2021, 68 (5), 613-620

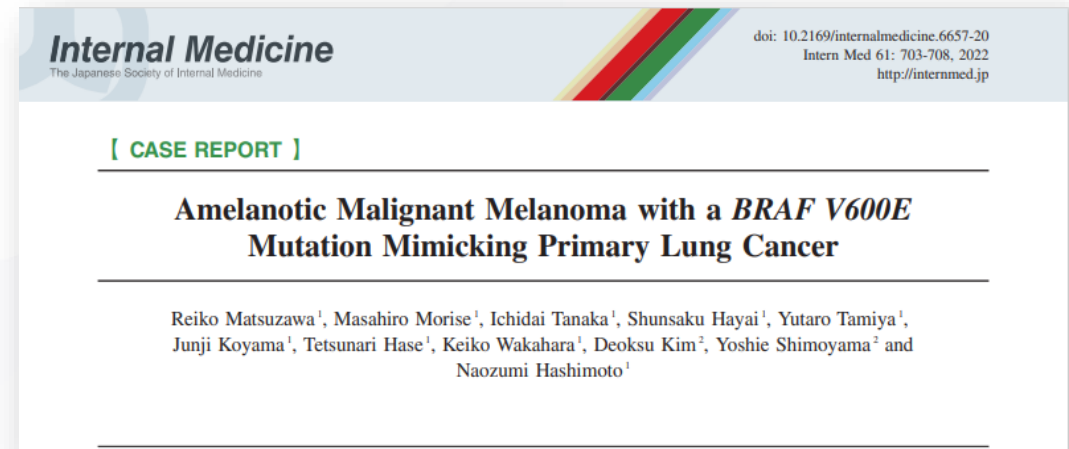
THE JAPAN ENDOCRINE SOCIETY
* SINCE 1925 *

RAPID COMMUNICATION

Efficacies of programmed cell death 1 ligand 1 blockade in non-small cell lung cancer patients with acquired resistance to prior programmed cell death 1 inhibitor and development of diabetic ketoacidosis caused by two different etiologies: a retrospective case series

Azusa Ishi¹⁾, Ichidai Tanaka¹⁾, Shintaro Iwama²⁾, Toshihiro Sakakibara¹⁾, Toshinori Mastui¹⁾, Tomoko Kobayashi²⁾, Tetsunari Hase¹⁾, Masahiro Morise¹⁾, Mitsuo Sato³⁾, Hiroshi Arima²⁾ and Naozumi Hashimoto¹⁾

石井あずさ先生 (H28卒)



Internal Medicine
The Japanese Society of Internal Medicine

doi: 10.2169/internalmedicine.6657-20
Intern Med 61: 703-708, 2022
http://internmed.jp

[CASE REPORT]

Amelanotic Malignant Melanoma with a *BRAF V600E* Mutation Mimicking Primary Lung Cancer

Reiko Matsuzawa¹, Masahiro Morise¹, Ichidai Tanaka¹, Shunsaku Hayai¹, Yutaro Tamiya¹, Junji Koyama¹, Tetsunari Hase¹, Keiko Wakahara¹, Deoksu Kim², Yoshie Shimoyama² and Naozumi Hashimoto¹

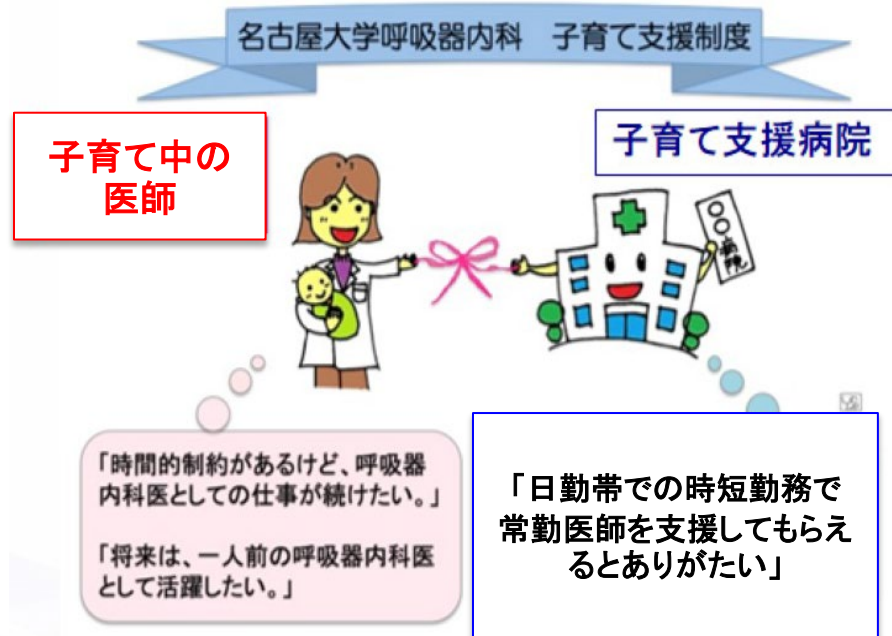
松澤令子先生 (H21卒)

質の高い医療の提供と働き方改革を両立

✓ チーム医療と当番制へのチャレンジ

- 症例カンファレンスと患者の引継ぎ・申し送り
- 単独主治医制からチームでの意思決定へ
- On-offを意識した働き方の推奨

✓ 子育て中医師へのキャリア支援



時短勤務や当直免除が可能な『子育て支援病院』での勤務の橋渡しをします

詳しくは呼吸器内科ホームページ<http://www.med-nagoya-respmed.jp>をご参照ください。

肺癌 臨床研究チーム

研究統括：森瀬昌宏

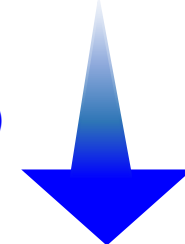


Real world data study

Multicenter Investigator Initiated Trial (多施設共同医師主導臨床試験, 特定臨床研究)

Multicenter Investigator Initiated Trial (多施設共同医師主導治験, GCP)

Basic



Challenging

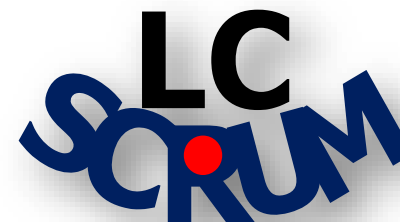
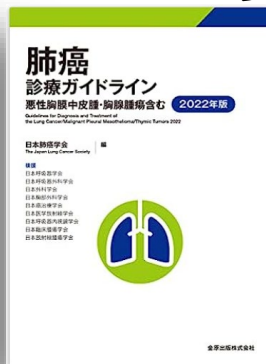
AI methodology driven personalized medicine



Future research
Question



日本肺癌学会 肺癌診療ガイドライン委員会



**Lung Cancer Genomic Screening
Project
for Individualized Medicine**

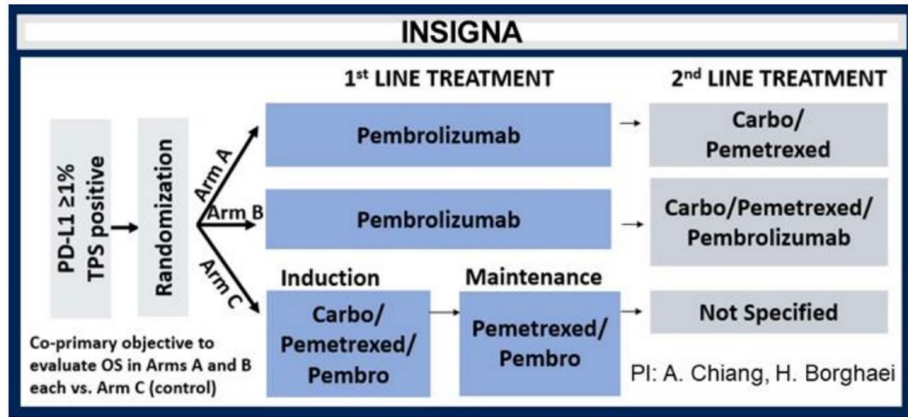
Rare Driver陽性肺癌患者さんに新規治療を届ける

最新標準治療の推奨決定に関するDiscussion
エビデンスが不足している領域の新たなCQ,
研究テーマの理解を深めることができる！

肺癌 臨床研究チーム

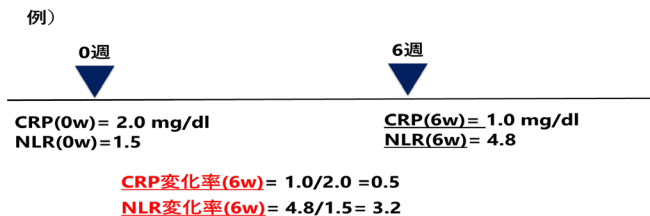
Non-invasive early prediction of ICI efficacy in NSCLC patients using on-treatment serum CRP and NLR

日常診療でのClinical Question
 PD-L1 $\geq 50\%$ NSCLC Pembro単剤 or Pembro+Chemo?

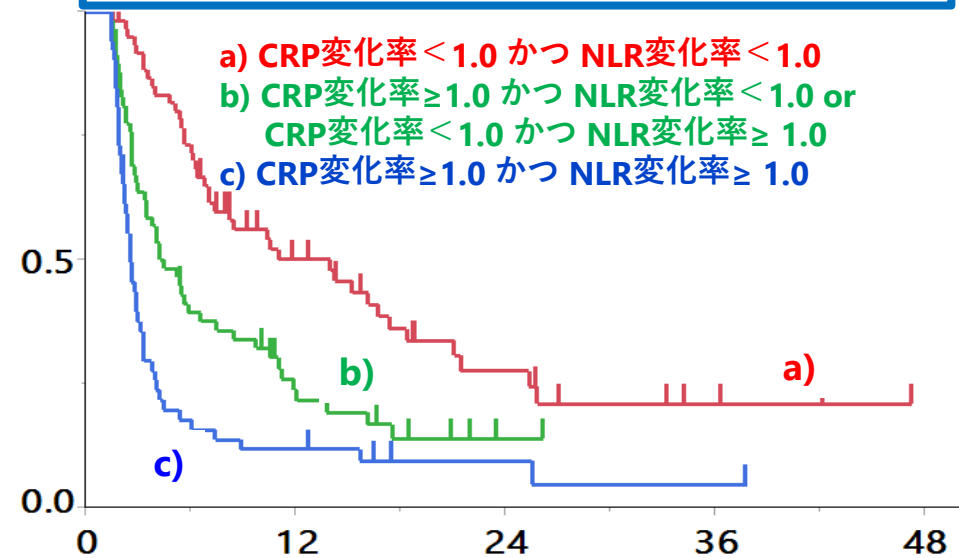


→PD-1/PD-L1単剤治療では早期に増悪してしまう患者さんを予測できないか?
 日常診療で使用する炎症マーカーに着目

◆ CRP変化率、NLR変化率の定義: 6週時点の値 / 治療開始前の値



PFS: CRP変化率(6w) + NLR変化率(6w)



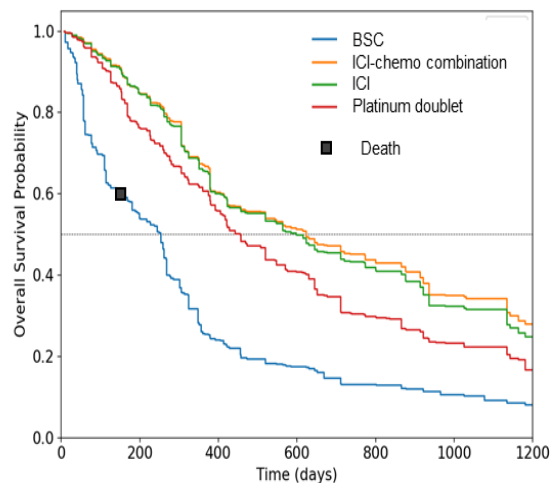
	n	mPFS (95%CI)	P値	HR (95%CI)	P値
a)	61	13.9 (7-17.3)		1	
b)	58	4.3 (3.3-6.5)	<0.01	1.92 (1.26-2.94)	<0.01
c)	52	2.5 (3.9-6.2)		3.53 (2.29-5.42)	

◆ ICI単剤治療中にAdd on treatmentが必要な集団を治療早期に同定する探索的研究

肺癌 臨床研究チーム

患者個別の治療決定に 貢献するAI研究

73-year-old, male, PS 0, Adenocarcinoma,
cT2aN0M1c, Stage IVB, PD-L1 TPS 1~24%,
Driver oncogene abnormality (-)



医師主導特定臨床研究 SCORPION試験

First-line Chemo+ICI 後のDTX+RAMは有効かつ安全か？

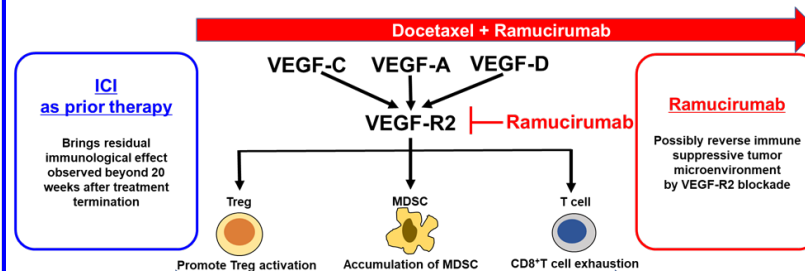
Study Design

- Stage IV or recurrent NSCLC
- Progression on or after platinum-based chemotherapy plus ICIs
- All histology
- ECOG PS 0-1

Docetaxel 60 mg/m², day1
Ramucirumab 10 mg/kg, day1
Pegfilgrastim 3.6 mg, day 2†
q3weeks

Until disease progression or unacceptable toxicity

Possible role of RAM in Immune modulation



JCI Insight. 2018;3:e59125. J Exp Med. 2015;212:139-48. Cancer Res. 2006;66:1123-31. Eur J Immunol. 2010;40:197-203.

Study Design of SCORPION: Multi-center, phase II study of DTX plus RAM following platinum-based chemotherapy plus ICIs in patients with NSCLC
Matsuzawa, Morise, et al. 2021 World Conference on Lung Cancer



APSR Assembly Education Award

Assembly Members' Meetings with Education Award sessions will be held on-site at the APSR 2022 Seoul Congress. [Education Sessions at Assembly Meetings \(apsresp.org\)](https://www.apsresp.org)

筆頭演者: 病院助教 神山潤二先生 受賞!!

ELCC 2023 Best Poster Award
筆頭演者: 松澤令子先生 受賞!!

呼吸器感染症研究チーム

研究の展開

研究統括：進藤 有一郎

次世代の呼吸器感染症診療・研究

(抗微生物治療戦略, 起炎微生物診断, 宿主免疫の補助療法, etc)

臨床研究

- 診断時における予後予測
- 起炎菌の薬剤耐性の予測
- 推奨治療レジメンの提案
 - ・ 初期抗菌薬
 - ・ 補助療法
- 治療効果判定指標の確立

基礎研究(宿主免疫)

- 呼吸器感染症における免疫応答解析からの病態解明と新規免疫療法の構築
 - 重症肺炎、COVID-19
 - 術後感染症(2次感染)
 - 肺非結核性抗酸菌症

基礎研究(微生物)

- 予後に関わる微生物側因子の探索(例: MRSA, *K. pneumoniae*)
- 新規ワクチン開発のための分子疫学的解析
- 薬剤耐性迅速診断法の開発

発展的な臨床研究

臨床データからの課題

検出微生物

入院を要する市中肺炎, 院内肺炎, 人工呼吸器関連肺炎患者 に対する多施設共同前向き臨床観察研究

Japanese, multi-center, observational study for hospitalized patients with community-acquired, hospital-acquired, and ventilator-associated pneumonia
(J-CAPTAIN study)

呼吸器感染症研究チーム

研究の概要

【臨床研究】～肺炎、抗酸菌感染症の研究～

- ✓ 名大グループが持つ**豊富な関連病院、強い臨床ネットワーク**を生かした大規模な臨床研究を実現しています。
- ✓ 海外、国内のガイドラインに**研究結果が多数引用**されています。

J-CAPTAIN 1
CJLSG 0911
(UMIN000003306)
10施設
N = 1515

Risk Factors for Drug-Resistant Pathogens in Community-acquired and Healthcare-associated Pneumonia

Yuichiro Shindo^{1,2}, Ryota Ito^{1,3}, Daisuke Kobayashi^{1,4}, Masahiko Ando⁵, Motoshi Ichikawa^{6,7}, Akira Shiraki⁸, Yasuhiro Goto⁹, Yasutaka Fukui¹⁰, Mai Iwaki¹¹, Junya Okumura¹², Ikuo Yamaguchi¹³, Tetsuya Yagi¹⁴, Yoshimasa Tanikawa¹⁵, Yasuteru Sugino¹⁶, Joe Shindoh¹⁷, Tomohiko Ogasawara¹⁸, Fumio Nomura¹⁹, Hideo Saka²⁰, Masashi Yamamoto²¹, Hiroyuki Taniguchi²², Ryujiro Suzuki²³, Hiroshi Saito²⁴, Takashi Kawamura²⁵, and Yoshinori Hasegawa²⁶; on behalf of the Central Japan Lung Study Group

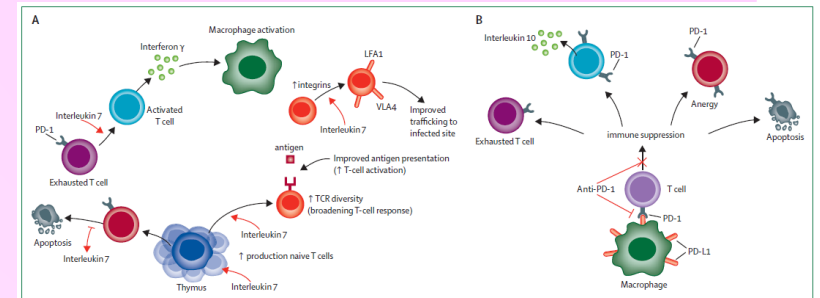
Risk factors for 30-day mortality in patients with pneumonia who receive appropriate initial antibiotics: an observational cohort study

Yuichiro Shindo, Ryota Ito, Daisuke Kobayashi, Masahiko Ando, Motoshi Ichikawa, Yasuhiro Goto, Yasuhiro Fukui, Mai Iwaki, Junya Okumura, Ikuo Yamaguchi, Tetsuya Yagi, Yoshimasa Tanikawa, Yasuteru Sugino, Joe Shindoh, Tomohiko Ogasawara, Fumio Nomura, Hideo Saka, Masashi Yamamoto, Hiroyuki Taniguchi, Ryujiro Suzuki, Hiroshi Saito, Takashi Kawamura, Yoshinori Hasegawa, on behalf of the Central Japan Lung Study Group

J-CAPTAIN 2
CJLSG 1205
(UMIN000003306)
4施設
N = 721

Infection and Drug Resistance
Dovepress
ORIGINAL RESEARCH
Validation of the prediction rules identifying drug-resistant pathogens in community-onset pneumonia

J-CAPTAIN 3
(UMIN000042522)
14施設
N = 3319
※現在、解析中



Lancet Infect Dis 2013;13:260-268.

JLB

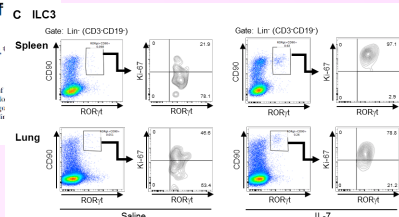
Article

Interleukin 7 immunotherapy improves host immunity and survival in a two-hit model of *Pseudomonas aeruginosa* pneumonia

Yuichiro Shindo^{1,2}, Ajojo G. Fuchs³, Christopher G. Dietz⁴, Tim Elias⁵, Jacqueline Unsinger⁶, Carys-tun D. Burnham⁶, Jonathan M. Green⁶, Michel Morva⁶, Grant V. Bokich⁶, and Richard S. Hotchkiss⁶

¹Departments of Anesthesiology, ²Anest and Critical Care Surgery, ³Pathology and Immunology and Pediatrics, ⁴Division of Pulmonary and Critical Care Medicine, Department of Medicine, and ⁵Immunology, Medicine, Surgery, and Molecular Biostatistics and Pharmacology, Washington University School of Medicine, St. Louis, Missouri, USA, ⁶Institute for Advanced Research, Nagoya University, Nagoya, Japan; ⁷Host Defense DPL, Infectious Diseases, FDU, Lincoln-Squad-Rhino, Research Triangle Park, North Carolina, USA; and ⁸Pharmaceutical, Inc., Redwood, Maryland, USA

RECEIVED DECEMBER 30, 2013; REVISED AUGUST 5, 2014; ACCEPTED AUGUST 20, 2014. DOI: 10.1189/jlb.04.1215.01



【免疫研究】

- ✓ **抗微生物治療では予後を改善できない感染症患者さんの免疫応答解析からの病態解明**をしています。
- ✓ **新規免疫療法の開発**に繋がる研究を目指しています。

2023年4月



「和」を大切にし、何でも語り合える
「風通しのよい教室」へ

一人一人が思い描く多様な将来の思いを大切にし、一緒に考え歩み、その力を存分に伸ばせる環境を整えサポートし、私自身も皆さんと一緒に成長できればと考えています。

研究は、基礎研究で夢を追い、臨床研究で新たなエビデンスを創ることを目指します。

→世界に成果を発信し、社会貢献を一緒に目指しませんか。

活躍の仕方は個人個人で多様です。一緒に呼吸器病学の未来を創ってくれる、多くの皆さんが当教室に加わってもらい、同士となってくれることを、心から楽しみにしています。

名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学

呼吸器内科に興味を持っていただいた医学生、先生の皆様
ぜひ名古屋大学呼吸器内科ホームページもご覧ください

<http://www.med-nagoya-respmed.jp/>

